

7 ポリッシャー

(1) 手順

手順①：資機材準備	手順②：ポリッシャーのセット	
手順③：ポリッシャーをかける	手順④：ポリッシャーの片付け	
手順⑤：点検	手順⑥：報告	

検定を行うコートは、モップやダスタークロスの設定と同じです。

(2) ポリッシャーでの約束

約束①：ポリッシャーをかけた後は踏まない。

約束②：コードを蹴らない。踏まない。またがない。

(3) 用意するもの

				
ポリッシャー 1台	パッド(赤) 1枚	飛散防止がー 1枚	白タオル 2枚	作業表示板 1枚
				
	パッド(赤) 1枚	バケツ 1つ	マイナスドライバー 1本	

本来は洗剤を出しながらポリッシャーをかけ、その後吸水バキューム等で水分を取りますが、検定では、タンクが空の状態で行います。ポリッシャーの操作のみを審査しますので、準備する資機材もポリッシャーの操作に関する8種類だけです。パッドには目の粗さの違いによって何種類がありますが、検定では赤いパッドを使用します。ポリッシャーを移動するときは押して移動しましょう。

(4) 作業の流れ

手順①：資機材準備



左の写真の中にある物から、必要な8種類の資機材を用意したら、右の写真のように並べます。ドライバーは転がらないよう、八つ折りにした白タオルの上に置きます。

手順②：ポリッシャーのセット



1 ポリッシャーを少し前に出し、コードを束のまま床に下ろします。このとき、プラグが下になるように置きます。



2 パッドとパッド台をセットします。パッドとパッド台がきれいに重なるように、姿勢を良くして真上から見ましょう。



3 次にスタンドを立てて、ポリッシャーを寝かせます。ポリッシャーを寝かしたり立てたりするときには、タイヤに足をかけてポリッシャーを固定して行います。

スタンドを立てたり畳んだりするときは、両脇についているボタンをしっかりと押して操作します。



4 次にコンセントを入れ、ポリッシャーが動くか確認(起動確認)をします。コンセントの抜き差しは、コードではなくプラグを持って行いましょう。安全装置を押しながら右レバーを握り、モーターを回転させ、急いで回転状況を目で確認します。



5 次にパッド台をセットします。パッド台の真横を両手で持ち、パッド台と本体の爪の位置が噛み合うようにはめ込みます。きちんとはまったら、少し右側へ動かしてから、一気に左側へ強く回転させます。手でゆすって装着具合を確認しましょう。



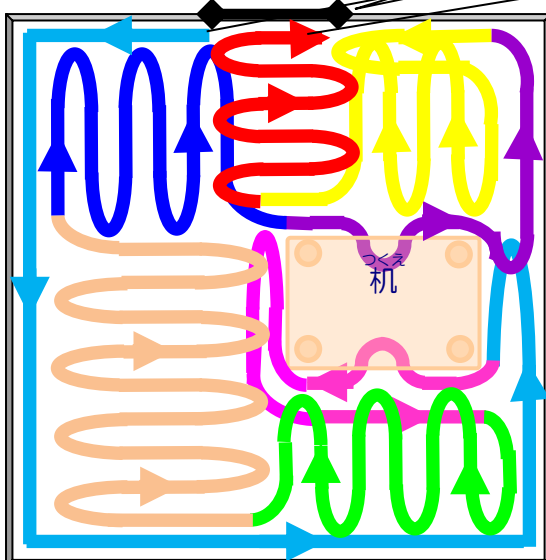
6 次にスタンドを畳みポリッシャーを起こし、飛散防止カバーを床から指一本分くらい隙間ができるようにセットします。真ん中から付け始め、横にぴんと張りながら付けていきましょう。

手順③：ポリッシャーをかける

出入口

スタート

ゴール



ポリッシャーは左の図のように、の順に移動させていきます。ポリッシャーをかけた跡が少し重なるように、また、壁や机にはぶつけないようにしましょう。

ポリッシャーは重い機械ですが、パッドを回転させているときは、ハンドルを少し上下させるだけで勢いよく左右に動いてしまいます。周囲に十分気を配り、安全に作業するように心掛けましょう。

スタンバイ

この作業中、必ずどちらかの手でポリッシャーのハンドルを持っていること。



コードを3巻ほどとり、ポリッシャーをスタート位置まで移動したら、ペダルを踏んでハンドルを下げます。ハンドルは2段階に下げられるようになっています。一番下まで下げましょう。



タンクの栓を開けます。タンクの栓の開け閉めは、必ずタイヤが地面についている状態で行います。



次にタイヤを上げます。ハンドルをしっかりと持ち、足をハンドルの下に入れるようにしないと、タイヤを上げた時にポリッシャーが倒れてしまうので注意しましょう。



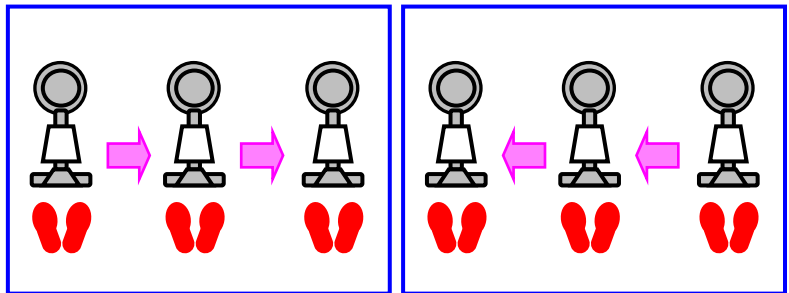
これで準備は完了です。左手にコードを持ちながら、左右のハンドルを順手でしっかりと握って正しく構えます。

起動・静止



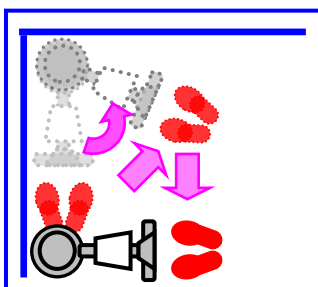
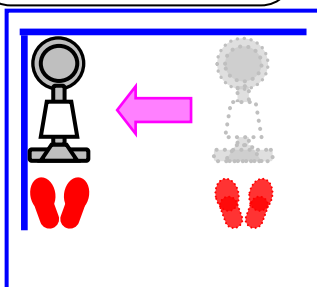
ポリッシャーの操作の安定感を確認するため、ポリッシャーを起動させたまま、スタート位置で20秒間静止させます。このとき、Pタイル2枚分以上左右に振れてしまったら、0から数え直します。自分の体の正面の位置でポリッシャーを保てるよう、バランスを取りましょう。

横移動



ポリッシャーを横移動させるときは、常に体の正面の位置にポリッシャーがあるように意識して少しずつ移動していきましょう。ハンドルを押し下げると、ポリッシャーは左に移動します。ハンドルを持ち上げると、ポリッシャーは右に移動します。

部屋の隅



部屋の隅で操作する際にも、常に自分の正面の位置にポリッシャーがあるように意識します。隅ぎりぎりまで移動したら、ポリッシャーを静止させたままにして、自分が右へ移動しながら方向転換をします。

つえ
机のまわり



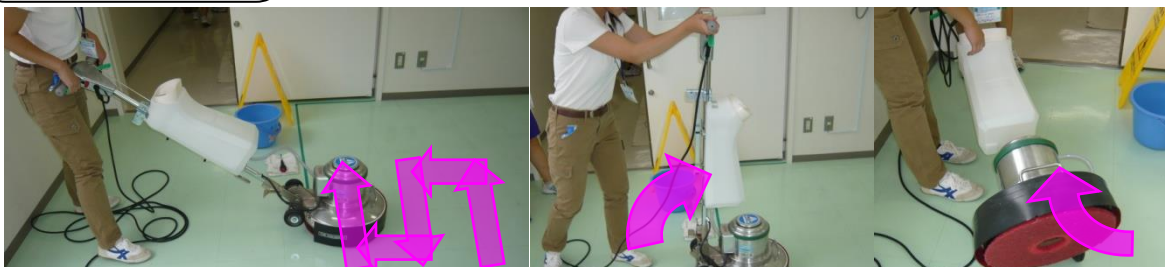
モップやダスタークロスと同じように、机の脚にポリッシャーをぶつけないように注意しましょう。机の下はポリッシャーを少し入れる程度で終わらせて構いません。

コードさばき

危険防止のため、コードは踏んだり、蹴ったり、またいだりしないようにします。そのためには、足元のコードを左手で払ったり、余分なコードを巻き取ったりしながら作業をするなどの、操作中のコードさばきが大切です。

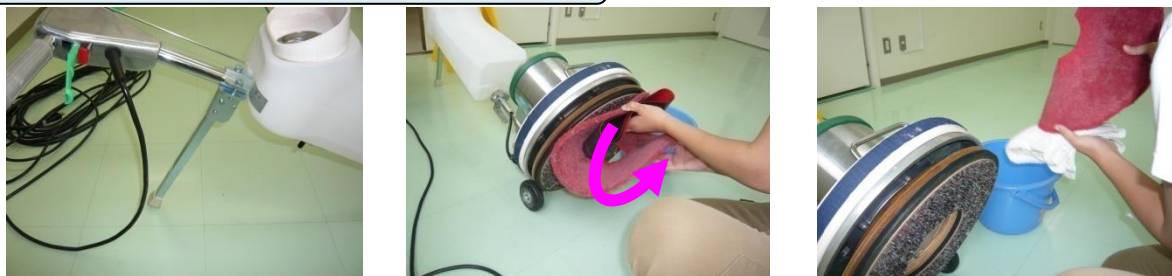


でいりぐち
出入口

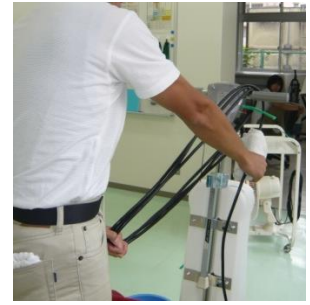


モップと同じように、バックしながら自分の体を出入口から出します。ポリッシャーはコート内に残したまま起動レバーを放し、ポリッシャーの回転を止めます。車輪を下ろして、タンクの栓を閉じ、ペダルを踏んでハンドルを持ち上げます。車輪を使ってコートの外にポリッシャーを移動させ、マットの上を立てたら、すぐにコンセントを抜きましょう。この後ポリッシャーの片付けを行います。

てしゅん④：ポリッシャーの片付け



スタンドを立ててポリッシャーを寝かします。飛散防止カバーをはずし、黒い面が外側になるように積み、パッドの上部に付けます。パッドを下からめくり、飛散防止カバーをくるむようにしてパッド台から外し、汚水が床に落ちないように、1枚目の白タオルで押さえながらバケツに入れます。



パッド台の穴にマイナスドライバーを入れ、パッド台を外します。このときパッド台が手の上に落ちたりしないように、しっかりと片手で押さえておきます。パッド台を外したら、白タオルでポリッシャーの内側を軽く拭きます。ポリッシャーを立てて、スタンドを下ろし、コードを白タオルで拭きながら巻き取ります。

手順⑤：点検

出入口からポリッシャーの片付けをした所までの床を、**2枚目の白タオル**で拭き取ったら、**使用した全ての資機材を、資機材置場に戻します。**

手順⑥：報告

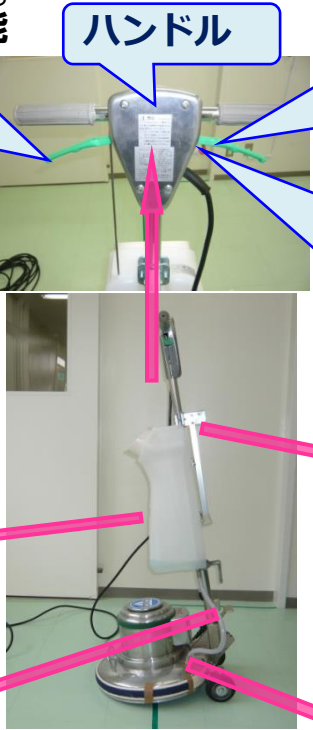
全ての工程が終了したら、出入口のところに立って姿勢を正し、はっきりした声で報告をしましょう。

ポリッシャーの各部位の名称と機能

左レバー
握ると、タンク内の洗剤がパッド台に流れ出ます。

タンク
洗剤を水で薄めたものを入れておきます。

ペダル
ハンドルを倒す時に踏みます。



右レバー
握るとパッド台が回転します。

安全装置
このボタンを押しながら右レバーを握らないとパッド台は回転しません。

スタンド
ポリッシャーを寝かす時に使います。

タンクの栓
縦にすると、開いて洗剤を出せる状態になります。